

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 飛驒特別支援学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和7年10月16日(木) 9:30～11:30
- 3 開催場所 飛驒特別支援学校 ビルクリーニング室
開催にあたり、委員による授業参観を実施した
- 4 参加者

会 長	柏木 真司	ウェルコミュニティ飛驒
副 会 長	石原 真悠子	本校PTA会長(書面出席)
委 員	伊藤 早苗	まちひとふら座かんかこかん運営委員長
	岡部 美里	高山日赤分校PTA会長
	川原 正巳	新宮まちづくり協議会(書面出席)
	霜山 紀代乃	花里まちづくり協議会事務局長(書面出席)
	田中 雪子	山ゆり学園施設長
	西野 直美	ひだ障がい者就業・生活支援センターぷりずむ主任 就業支援ワーカー(書面出席)
	松下 孝治	高山市福祉部福祉課課長
	丸山 永二	高山市社会福祉協議会事務局長(書面出席)
学校側	太田 浩司	校長
	野中 明子	高山日赤分校副校長兼高等部主事
	長瀬 美智代	本校教頭
	竹腰 典子	事務部長
	新屋 郁子	本校小学部主事
	中垣 雅道	本校中学部主事
	田中 一幸	本校高等部主事
	中林 亜紀子	高山日赤分校小・中学部主事(欠席)
- 5 会議の概要(協議事項)
 - (1) 今年度の取組について
本校教頭、高山日赤分校副校長より、令和7年度の取組について説明を行った。
 - (2) 生徒及び保護者による学校評価アンケートの回答結果と分析について、本校教頭、高山日赤分校副校長より説明を行った。
 - (3) 意見交流
本校授業見学の感想や説明について意見交流を行った。

- 意見 1 : 地域との関わりが大切だと感じている。しかし、地域の情報誌や案内はたくさん来るが、家族で行こうとならない。行きたいと思えるように、地域とのつながりをもつと良いのか。
⇒何かきっかけが必要だと思っている。学校の校外学習で利用した時の児童生徒の様子を保護者に伝えることや、地域への周知について御意見を伺いながら模索していきたい。
- 意見 2 : 地域の小学校との交流はとてもよい事だと思う。特別支援学校に来て、様子を知ってもらえるような機会をつくってほしい。
⇒知ってもらう機会として、高山市の小学校の音楽会に本校分校合同で、参加し発表している。保護者も喜んでいと聞いている。
- 意見 3 : アンケート結果から、地域の教員の見学の受け入れや交流が評価されている。
- 意見 4 : 卒業後、困っていないか、福祉とつながっているかを確認してほしいと思っているが、卒業後を見越した関係作りはありがたい。
- 意見 5 : 働き方改革について、長時間労働は良くない。教員も余裕をもって取り組めるようにしていただきたい。
⇒学校でも、教員の業務を効率化し、教員同士児童生徒のことや授業のこと等を話し合う時間を作りたいと思っている。そのことで、気持ちに余裕ができたり支援や授業づくりの充実につながったりすれば、と思っている。
- 意見 6 : 交流は、色々な方と活動していただきたい。お互いに人間力の向上や気づきがあり、相手の方にも力になる。どんどん出て行ってほしい。
- 意見 7 : 校内を参観して、修学旅行等「どこに行ってきたか」の掲示を見たが、大切なことだと思う。他の学年の児童にとって、見通しにつながる。他校のことだが、授業の内容がわかりやすく提示されているクラスは活発な意見交換をしていたが、わかりにくいクラスは活発でない、という様子であった。わかりやすい掲示（提示）を心がけてほしい。
- 意見 8 : 異年齢の関わりの中で学ぶ、という取組をしているが、先輩の頑張っている様子を見て、当事者同士で話すことが大切である。卒業生がピアカウンセラーとして、在校生に助言やアドバイスができるため、卒業生との交流もしてほしい。
- 意見 9 : 長年関わっているが、地域との交流が進んでいると感じる。この先一歩進めて、生徒一人一人が自分の地域でなくてはならない存在になれるようになるとよい。地元の祭りになくてはならない存在になるとか、高齢者の生活をサポートできる人になるとか、事例を増やして行ってほしい。

(4) 高等部作業製品の新製品の登録承認と価格・名称変更、抹消製品について
高等部主事より説明

- ・新製品の登録について
委員の承認を得た。
- ・価格・名称変更、抹消製品について
内容が膨大であるため、委員には資料を持ち帰って内容を確認してもらい、次回第3回目の会議で意見を伺うこととした。